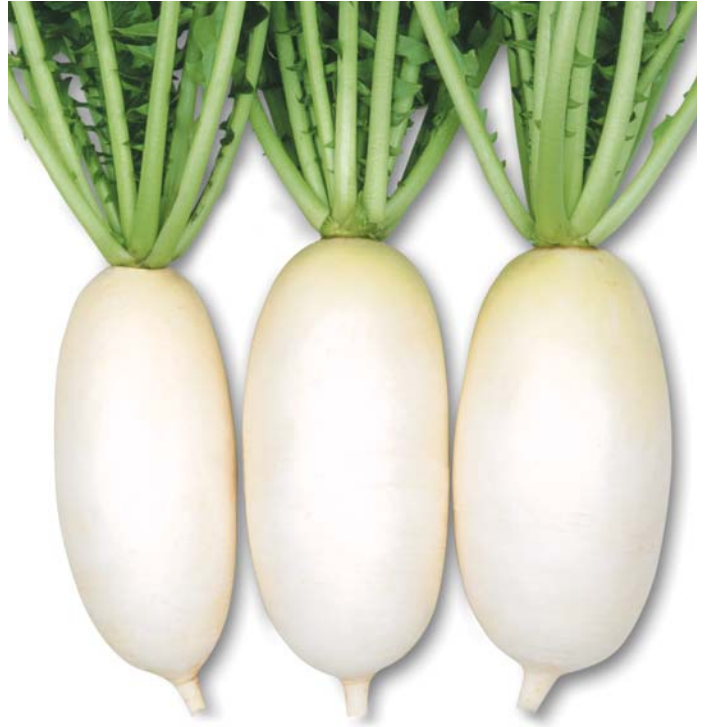


あじから  
**味 辛** (MRX-012)  
宇治交配

まき幅が広く、辛味が安定した辛味ダイコン！

特 性

- ① 播種後 50～60 日で収穫可能となり、根長 12～15cm、根径 4～5cm、根重 300～400g 程度になります。
- ② 葉は濃緑色で光沢があり切れ込みが浅い特徴があります。また草勢がおとなしいため、密植栽培が可能で、収穫・調整がしやすい品種です。
- ③ 根は短円筒形で尻づまりがよく、肩部にやや緑色をおびます。また肌は純白で美しく、横しまや裂根が少ない特徴があります。肉質は緻密で水分が少なく辛味が強いので、おろして蕎麦やうどん、天ぷらなどの薬味の他、煮物、漬物としても美味です。
- ④ 秋播きの他、抽台が比較的遅い晩抽性なので、周年栽培が可能で一年を通して安定した辛味が出ます。特に辛味については栽培条件に関わらず、安定して辛味が出るのが特徴です。またス入りが遅いので収穫時期を幅広くもつことができます。



栽培のポイント!

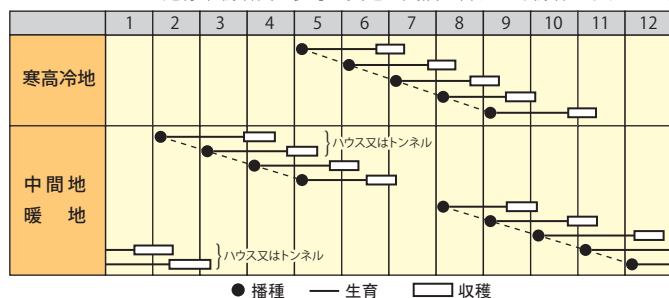
土づくり

良品づくりのためには作土が深く、排水良好な土壌が望まれます。水はけの悪い畑は、小排水溝を設けるなどして排水対策を行ってください。また堆肥を施用する場合は、未熟堆肥の投入による岐根などの発生を防ぐため、完熟堆肥を使用し、播種期まで十分な腐熟期間をとりましょう。

施肥

10a 当りの施肥量は土壌条件や前作によって異なりますが、普通大根の 1/3 程度を目安に、元肥として窒素成分で約 4～5kg 程度を施し、やや不足気味で栽培します。

上記標準栽培表を参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。



播 種

- ① うね幅 150cm で株間 20cm、条間 20cm の 4 条植えを基準にして、1ヶ所あたり 3 粒程度播種します。
- ② 低温時期の播種には、トンネル栽培やハウス栽培を行うことをおすすめします。

栽培管理

- ① 間引きは本葉 5～6 枚の頃に行い、病虫害の被害を受けていない、健全で生育のよい株で残し、畑全体がそろるようにします。
- ② 春先のトンネル栽培では、低温による抽台を防ぐため、播種後 1ヶ月間は密閉して 30℃を目安に昼温を高めます。10～20 葉期では、莖葉の徒長を防ぐために除除に換気していき、生育後期は昼温 20℃を目安に十分に換気を行います。
- ③ 灌水のしすぎや肥料の多量投入は辛味を弱くしますので、辛味を強くしたい場合は窒素分をひかえて、やや乾燥気味にします。

病虫害の防除

- ① 生育初期にはハイマダラノメイガ（シンクイムシ）やアブラムシの発生に注意し、特にアブラムシの発生はウイルス病を多発させるので初期防除に努めます。
- ② 作土の浅い畑や、排水の悪い畑では軟腐病や黒斑病が発生しやすいので予防のため薬剤を散布します。